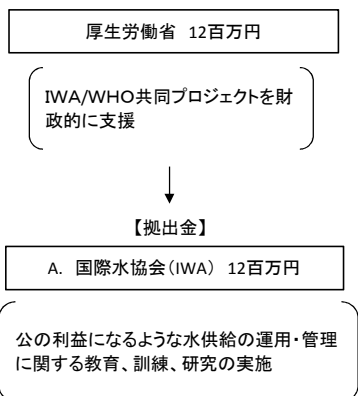


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国際水協会・水供給に関する運用と管理ネットワーク拠出金			担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始年度	平成18年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	水道課		水道課長 宮崎 正信	
会計区分	一般会計			政策・施策名	X-1-1 国際機関の活動への参画・協力や海外広報を通じて、国際社会に貢献すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	途上国における水供給システムの運用及び管理に対する意識の向上と、知識や技術の移転を目的として設立された水供給に関する運用と管理ネットワーク(Operation & Maintenance Network: OMN)の活動を支援することにより、我が国の水道事業者が有する水道の運用及び管理に対する高い技術力と豊富な経験等を途上国と共有することが可能となり、国際貢献に資する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	WHOの協力を得て、IWAが運営するOMNIは、国際的な水供給に関する目標達成に大きく貢献するものであり、我が国の知見や経験を有効に活用できる分野における取り組みを進めている。 我が国がOMNを支援していくことは、国際的に強く求められるものであることから、OMNの活動を支援するための資金を拠出するもの。							
実施方法	その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	11	11	12	12	12	
	執行額	11	11	12	-	-		
	執行率(%)	100%	100%	100%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 毎年度	
	国連ミレニアム開発目標「安全な飲料水及び基礎的な衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を1990年(24%)より半減する」	達成度 = 成果実績 / 目標値 (目標値 = 「1990年の割合(24%)の半分」 最新実績11%(2012年)	成果実績	%	11	11	11	-
			目標値	%	12	12	12	12
			達成度	%	92%	92%	92%	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	研修ツールの作成	活動実績	件	5	3	2	-	
		当初見込み	件	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	ワークショップ等の開催	活動実績	回	3	6	5	-	
		当初見込み	回	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	WHOへ専門家の派遣	活動実績	名	1	1	1	-	
		当初見込み	名	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	単位当たりコスト = X/Y X:「活動支援額」 Y:「OMN活動」	単位当たりコスト 百万円/一式	11	11	12	12		
		計算式	X/Y	11/1	11/1	12/1	12/1	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	国際分担金	12	12					
	計	12	12					

事業所管部局による点検・改善					
項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	OMNの活動分野は、我が国の水道が有する高い技術や知見の活用が有効な分野であり、広く国民のニーズが高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国際分担金であるため、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	国際社会において、日本には水分野の国際貢献が強く求められており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者に提供されることから、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	用途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。	
	不利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	国土交通省の事業は、水資源管理に係る日本の国際展開のための情報収集、国際会議の開催等を自ら行っているものであるが、「国際水協会・水供給に関する運用と管理ネットワーク拠出金」は、世界の水供給事情改善を目的とした国際活動を支援するため国際水協会、世界保健機関に資金を拠出する国際貢献であり、目的、手法ともに異なっている。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	国土交通省	41	世界的水資源問題を踏まえた我が国の対応方策検討調査経費		
点検・改善結果	点検結果	「水供給に関する運用と管理のネットワーク」(OMN)の活動分野は、漏水対策等に関する我が国の水道が有する高い技術や知見の活用が有効な分野の一つである。 OMNの実施主体のIWAとWHOは、水道事業や水質管理に関係する代表的な国際機関であり、このような機関に対し資金拠出を行うことで、国際社会に大きな影響力を有するガイドライン等の作成への関与が可能となる。海外の関係情報の収集が容易になる、などのメリットがあり、引き続き必要な予算である。			
	改善の方向性	H26年度においては、当該目的のために適切な執行が行われたところであり、今後も適正かつ効率的な執行に努めることとする。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	点検結果も妥当であり、水供給に関する運用と管理ネットワークの活動を支援するために必要な拠出金であることから、引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を行うこと。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	557	平成23年度	507	平成24年度	449
平成25年度	839	平成26年度	841		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.国際水協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
送金	WHOへ送金	6			
コンサルタント経費	コンサルタント経費	3			
旅費	旅費	1			
その他	会議費、諸経費等	1			
計		11	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際水協会 (IWA)	国際水協会・水供給に関する運用と管理ネットワーク拠出金	12	—	—